

第4回 長良川流域新五流総地域委員会 議事概要

長良川流域新五流総地域委員会事務局

日時：平成27年1月26日（月）14:00～15:30

場所：ふれあい福寿会館第2棟 4F 4-2 会議室

1. 議事

○「長良川流域における総合的な治水対策プラン」の今後の進捗管理について

- 1) 次期短期目標（10年程度）の進捗管理について
- 2) 地域委員会を開催する頻度と時期について

○ソフト対策に関する情報提供について

- 1) 浸水想定区域図やハザードマップの更新について
- 2) 危険水位等の見直しについて

2. 議事要旨

○「長良川流域における総合的な治水対策プラン」の今後の進捗管理について

議事1)、2)の項目の内容について事務局から説明があり、質疑、意見交換がなされた。

各項目について交わされた質疑応答、意見の主な内容は以下の通りである。

1) 次期短期目標（10年程度）の進捗管理について

- ・進捗管理表（資料1-1）、点検結果表（資料1-2）については、毎年作成するのか、それとも、地域委員会の開催年度に合わせて作成するのか。
→ 毎年作成し、更新を図っていきたい。
- ・各市町におけるソフト対策（資料1-3）も毎年進捗管理を行っていくのか。
→ 毎年更新し、進捗状況について、住民の皆様にも見えるようにしたい。
- ・毎年進捗管理を行っていくとのことだが、資料1の3ページのイメージ図にある、「今後10年間の整備目標」は変わらないのか。
→ この整備目標については変更しない。
- ・このイメージ図に黄色で塗ってある「短期目標」とは何か。
→ 平成19年度から概ね5年間で整備する予定箇所のことであり、既に完了している区間である。今後進捗管理を行っていくのは、「今後10年間目標」として掲げている赤色で着色してある区間である。着色方法については分かりやすいように検討したい。

2) 地域委員会を開催する頻度と時期について

- ・質問等はとくになし

○ソフト対策に関する情報提供について

議事1)、2)の項目の内容について事務局から説明があり、質疑、意見交換がなされた。

各項目について交わされた質疑応答、意見の主な内容は以下の通りである。

1) 浸水想定区域図やハザードマップの更新について

- ・浸水深の表示を5段階から4段階に変更することの考え方について、国からは何か情報・補足説明等はあるのか。

→ これまでは、0cm～50cm、50cm～1mという具合に浸水深が細分化されていたが、避難方法として、横方向への避難だけでなく、1階から2階へ避難するような垂直避難という考え方も取り入れていくということを踏まえての変更であると考えている。

- ・洪水時家屋倒壊危険ゾーンの設定は、河川管理者が設定するのか。また、その基準があれば教えてほしい。

→ 河川管理者で設定することになる。現在、外力（降雨）などの諸条件について国で検討中である。今後、新たな情報が入手できれば、皆様に提供したい。

→ 過去の研究では、倒壊外力として氾濫水の流速の二乗と水深との積が用いられた例がある（委員長）。

2) 危険水位等の見直しについて

- ・質問等はとくになし